

スポーツキャリアサポート支援事業における
アスリートの効果的なキャリア形成支援の在り方に関する基礎的調査研究
仕様書

1. 事業名

スポーツキャリアサポート支援事業におけるアスリートの効果的なキャリア形成支援の在り方に関する基礎的調査研究

2. 目的

オリンピック・パラリンピック東京大会を終え、多くのアスリートがキャリア移行期を迎える中で、アスリートのキャリア形成支援のより一層の充実を図るため、諸外国における政策やスポーツ団体の取組事例の調査及び国内の学生アスリートや競技を引退したアスリートの活動状況に関する調査を行う。

3. 調査研究内容

(1) 有識者会議の設置

本調査研究の円滑な実施を図るため、必要な助言等を得ることを目的に、受託者において有識者等で構成される検討委員会を設置すること。

(2) 諸外国におけるアスリートのキャリア形成支援の取組に関する調査・分析

アメリカのNCAAでの取組等、諸外国におけるアスリートのキャリア形成支援に関する取組の実態など必要な情報を収集した上で、スポーツ団体や当事者が抱えている課題、課題解決に向けた施策や取組を調査すること。その際、4. 調査対象及び調査項目を踏まえたものとする。

なお、調査方法は、文献による調査を実施するとともに、必要に応じて調査対象へのヒアリング等を実施すること。

(3) 国内におけるアスリートの活動状況等に関する調査・分析

国内学生アスリートの学業と競技活動との両立の実態、それぞれの活動時間や成績、就職状況等との相関関係を調査した上で、学生アスリートが抱える課題を明らかにし、課題解決に向けた施策や取組を提言すること。

また、競技を引退したアスリートの就職先等の活動状況の情報を調査した上で、スポーツ界内外で活躍している事例を収集すること。その際、4. 調査対象及び調査項目を踏まえたものとする。なお、調査方法は、各関係団体へのヒアリング及びアンケート調査を中心に実施すること。

4. 調査対象、調査項目

本事業においては以下に記載する調査対象及び調査項目を踏まえた上で、企画提案書を作成すること。なお、それ以外の実施内容（事業の目的に沿ったものに限る。）を含めることを排除するものではない。

(1) 調査対象

① 諸外国におけるアスリートのキャリア形成支援の取組に関する調査・分析

有識者の意見も踏まえ、3～4か国程度、調査対象となる国を選定すること。

②国内におけるアスリートの活動状況等に関する調査・分析

スポーツ統括団体及び中央競技団体、プロスポーツ団体、日本トップリーグ連携機構に加盟する団体、アスリートを雇用する企業、大学等。

調査の対象となるアスリートの競技レベルは、JOC、JPC の強化指定選手、プロスポーツ選手、日本トップリーグ連携機構に加盟する団体に所属するチームの選手のうち、日本代表に選出された経験がある選手とすること。

(2) 調査項目

①諸外国におけるアスリートのキャリア形成支援の取組に関する調査・分析

- ・諸外国におけるアスリートのキャリア形成支援上の課題
- ・諸外国における上記課題の解決に向けた取組事例

②国内におけるアスリートの活動状況等に関する調査・分析

- ・国内学生アスリートの学業と競技活動との両立の実態、それぞれの活動時間や成績、就職状況等との相関関係
- ・国内学生アスリートへの学業支援、就職支援等、キャリア形成支援に資する取組事例
- ・国内アスリートの競技引退後の活動状況
- ・スポーツ界で活躍する事例
- ・スポーツ界外で活躍する事例

5. 業務実施に当たっての留意事項

調査項目や分析の視点等を検討する際には、有識者会議での助言等を踏まえるとともに、確定する際には、スポーツ庁担当官と十分に協議を行うこと。

また、スポーツ庁担当官へ定期的に進捗状況を報告すること。

6. 成果物

報告書本体（A4 版）

報告書概要版

※ (2) (3) 調査別に実施成果をまとめ、報告書を作成すること。

※ 報告書は、スポーツ庁へ電子データによって納品すること。